

〔論文〕

J-POP 広東語カバー曲における声調の 楽音への影響 (1)～(5) まとめ (その1)

樋口 勇夫

名古屋学院大学外国語学部

要 旨

幾つかのJ-POP広東語カバー曲では、オリジナル曲の楽音の高さを、ある特定の音符だけ個別に変えてあり、それはその音符に対応する歌詞の漢字の声調と関係がありそうである。

拙稿「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響」(1)～(5)にて、1984年から2010年のJ-POP広東語カバー曲、計50曲を例にその様相を探った。本稿ではそのまとめを行なう。

キーワード：声調，楽音，広東語，カバー曲，J-POP

The Influence of Chinese Character Tones on the Musical Sounds in Some Cantonese Versions of Japanese Pop Songs (1)–(5) Compilation and Review (Part 1)

Isao HIGUCHI

Faculty of Foreign Studies
Nagoya Gakuin University

発行日 2015年3月31日

0. はじめに

拙稿(1)～(5)(樋口2010～2014)にて、J-POP広東語カバー曲、計50曲を調査した。本稿ではそのまとめを行なう。

0.1 広東語の声調

広東語の声調は表1の通り¹⁾。

表1

				-p,-t,-k 韻尾	
調類	陰平	陰上	陰去	上陰入	下陰入
千島式ローマ字声調No.	第1声	第2声	第3声	第1声	第3声
調値	□55 (～□53) ²⁾	□35	□33	□5	□33
調値の型	高平 (～高降) ²⁾	高昇	中平	高平	中平
調類	陽平	陽上	陽去	陽入	
千島式ローマ字声調No.	第4声	第5声	第6声	第6声	
調値	□21	□23	□22	□2 / □22	
調値の型	低降	低昇	低平	低平	

0.2 拙稿(1)～(5)(樋口2010～2014)における調査結果

拙稿(1)～(5)(樋口2010～2014)では、「幾つかのJ-POP広東語カバー曲では、オリジナル曲の楽音の高さを、ある特定の音符だけ個別に変えてあり、それはその音符に対応する歌詞の漢字の声調と関係がありそうである。」という予測のもとに、1984年から2010年までのJ-POP広東語カバー曲、計50曲を調査し、以下のことがわかった。

カバー曲で楽音の高さを変えてある場合は、次の幾つかのタイプに分類できる。

1. 当該音節の声調と関係がある。

1.1 音節末調値がオリジナルの楽音の高さに合わない。

1.1.1 その1音節の高さを変える。

1.1.2 前後数音をまとめて高さを変える。

1.1.3 前後数音をまとめて、高さだけでなく、リズムまで変える。

1.1.3.1 同じ曲の別の部分を転用する。

1.1.3.2 比較的大胆に新たなリズムを創作する。

1.2 「第1声(陰平)」の高降調の方の調値「□53」に合うように、下降する2楽音に変える。

1.3 「第2声(陰上)」の調値「□35」に合うように、上昇する2楽音に変える。

1.4 直前／直後の音節との音程が広すぎる／狭すぎるので、適切な音程に調整してある、と考えられる。

- 1.5 オリジナルには無い楽音を加える。
2. 当該音節の声調と関係がない。
 - 2.1 上昇／下降する2 (～3) 楽音を1楽音に変える。
 - 2.2 直後の、より高い／低い楽音に向かうため、オリジナルの1楽音または同一の高さの2楽音を、カバーでは上昇／下降する2 (～3) 楽音に、或いは、直前の楽音から直後の楽音への渡りとなる1楽音に、それぞれ変えてある、と考えられる。
 - 2.3 オリジナルにおける直前／直後の音を変えた結果、オリジナルのメロディーラインから消失した音を補うために、二次的に、オリジナルにおける直前／直後の音に変えてある、と考えられる。
 - 2.4 オリジナルにおける直前／直後の音を変えた結果、オリジナルにおけるその音との音程を保つために、二次的に変えてある、と考えられる。
 - 2.5 同じ曲の別の部分を転用する。
 - 2.6 目下のところ、理由不明。

各稿において、調査した10曲ごとに、その都度タイプ分類し、各タイプに属す音節数を整理したが、新たなタイプが見つかる度、毎回タイプ分類を少しずつ修正しているので、本稿であらためて50曲全体について、最新のタイプ分類に従って再整理する。

上記「1.2 『第1声 (陰平)』の高降調の方の調値『□53』に合うように、下降する2楽音に変える。」は、拙稿 (2) (樋口2011) で一旦立てた後、同 (4) (同2013b) 以降で、上記「2.2 直後の、より高い／低い楽音に向かうため、オリジナルの1楽音または同一の高さの2楽音を、カバーでは上昇／下降する2 (～3) 楽音に、或いは、直前の楽音から直後の楽音への渡りとなる1楽音に、それぞれ変えてある、と考えられる。」に吸収させたが、今回あらためて50曲を見直してみると、やはり独立させておくべきと考え、復活させた。

また、上記「2.1 上昇／下降する2 (～3) 楽音を1楽音に変える。」は、後述「1. 補遺と再整理」において「拾っていなかった例を追加する」際に見つかった例を反映し、「(～3)」を加えた。

0.3 調査対象とした曲

調査対象とした曲は、表2の通りである。

「No.」欄は、拙稿 (1)～(5) で扱った順で、「1～10」・「11～20」・「21～30」・「31～40」・「41～50」は、それぞれ、同 (1)・(2)・(3)・(4)・(5) 所収。各稿内では、カバー曲の発表年順 (カバー曲の発表年が同じ場合は、オリジナル曲の発表年月日順)。

「調」欄の、大文字はMajor (長調) を、小文字はminor (短調) を、それぞれ表わす。

カバー曲の「調」欄の網掛けは、オリジナル曲と異なることを示す。

表2

No.	カバー曲				オリジナル曲			
	年	曲	調	歌手	年	曲	調	歌手
1	1985	揺擺口紅	B ^b	林憶蓮	1984	Rock'n Rouge	C	松田聖子
2	1985	愛情I Don't Know	B	林憶蓮	1985	天使のウィンク	B	松田聖子
3	1989	再會	G	關淑怡	1978	オリビアを聴きながら	G	杏里
4	1989	給我親愛的	B ^b	張學友	1979	いとしのエリー	D	サザンオール スターズ
5	1990	每天愛你多一些	C [#]	張學友	1990	真夏の果実	D	サザンオール スターズ
6	1992	我的親愛	C	黎明	1992	もう恋なんてしない	E	槇原敬之
7	1994	陽光路上	F [#]	黎瑞恩	1993	大切なあなた	F [#]	松田聖子
8	2000	其實我很擔心	C	蘇永康	2000	TSUNAMI	D	サザンオール スターズ
9	2000	一生中一個你	F	鄭伊健	2000	桜坂	G	福山雅治
10	2000	留座	D	陳慧琳	2000	be alive	E ^b	小柳ゆき
11	1993	唯獨你是不可取替	B	許志安	1992	世界中の誰よりきっと	D	中山美穂 &WANDS
12	1994	廿世紀的戀人們	e	鄭伊健	1991	ラブ・ストーリーは突然に	b	小田和正
13	1995	誰令你心痴	D	張國榮 陳潔靈	1985	恋におちて —Fall in love—	C [#]	小林明子
14	1995	留住夏季的風	g [#]	孫耀威	1995	碧いうさぎ	c	酒井法子
15	1998	悠長假期	A ^b	譚耀文	1996	LA・LA・LA LOVE SONG	B	久保田利伸 with ナオミ キャンベル
16	1998	AHHHHH!	c [#]	黎明	1998	AHHHHH!	f	久保田利伸
17	1999	DEPARTURES	f	葉佩雯	1996	DEPARTURES	f	globe
18	1999	Can you celebrate?	G-B ^b	葉佩雯	1997	CAN YOU CELEBRATE?	G-B ^b	安室奈美恵
19	2000	我的命運	E	梁漢文	1999	Squall	E	福山雅治
20	2001	我還記得我是誰	A	陳慧珊	1999	あなたのキスを数えま しょう —You were mine—	A	小柳ゆき
21	1984	捕風の漢子	b	譚詠麟	1983	メリーアン	e	ALFEE
22	1984	酒紅色的心	e	譚詠麟	1983	ワインレッドの心	f [#]	安全地帯
23	1986	癡情意外	a-b ^b	陳慧嫻	1985	碧い瞳のエリス	f [#] -g	安全地帯

J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (1)~(5) まとめ (その1)

No.	カバー曲				オリジナル曲			
	年	曲	調	歌手	年	曲	調	歌手
24	1986	藍雨	D	張學友	1986	レイニーブルー	E	徳永英明
25	1989	Don't Say Good Bye	C	譚詠麟	1987	輝きながら…	E	徳永英明
26	2003	環遊世界	E	SKY	1998	夜空ノムコウ	F	SMAP
27	2003	冒險後樂園	B ^b	SKY	2003	世界に一つだけの花	A	SMAP
28	2003	不死傳說	g-G- A-A ^b	陳奕迅	2003	メリッサ	a-A- B-B ^b	ポルノグラフィティ
29	2005	閉目入神	C	鄭中基	2004	瞳をとじて	E ^b	平井 堅
30	2006	3+1=1	A-B ^b - B	Sunboy'z	2006	PRECIOUS ONE	B-C -D ^b	KAT-TUN
31	1984	愛的替身	B	譚詠麟	1983	想い出がいっぱい	C	H ₂ O
32	1994	愛的故事(上集)	d	孫耀威	1993	ロード	e	THE 虎舞竜
33	1995	正在愛	D	陳曉東	1995	シーソーゲーム ~勇敢な恋の歌~	E	Mr. Children
34	1999	Feel Like dance	G-A ^b	葉佩雯	1995	Feel Like dance	G-A ^b	globe
35	1999	Can't Stop Falling in Love	a-b ^b	葉佩雯	1996	Can't Stop Fallin' in Love	b-c	globe
36	2004	假如我是假的	F	蕭正楠	2003	さくら(独唱)	A ^b	森山直太朗
37	2007	我信	F [#] -A ^b -F [#] -A ^b -B-A ^b	王友良	2006	Precious	E-F [#] -E-F [#] -A-F [#]	伊藤由奈
38	2008	陰天假期	A	衛 蘭	2005	Endless Story	A	伊藤由奈
39	2009	給自己的信	A	鍾舒漫	2008	手紙 ~拝啓 十五の君へ~	A ^b	アンジェラ・アキ
40	2010	再見不再見	B	陳柏宇	2009	僕は君に恋をする	C	平井 堅
41	1987	太陽星辰	c [#]	張學友	1987	BIRDS	f	徳永英明
42	1991	壯志驕陽	D-B -D-B -D-E	張學友	1990	愛は勝つ	D-B -D-B -D-E	KAN
43	1991	Oh! 夜	D	黎 明	1991	Oh! Yeah!	F	小田和正
44	1992	一夜傾情	g	黎 明	1984	恋の予感	a [#]	安全地帯
45	1992	紅日	C	李克勤	1991	それが大事	C	大事MAN ブラザーズバンド
46	1992	喜歡你是你	C	許志安	1992	涙のキッス	C	サザンオール スターズ
47	1993	Chotto 等等	a	鄭秀文	1993	チョット	a	大黒摩季

No.	カバー曲				オリジナル曲			
	年	曲	調	歌手	年	曲	調	歌手
48	1994	心血	C	許志安	1993	翼を広げて	C [#] -E-F [#]	DEEN
49	1994	陽光	G-A	黎明	1993	All My Loving	A-B	福山雅治
50	1994	朋友心	F	許志安	1994	空と君のあいだに	A	中島みゆき
				梁漢文等				

楽譜は、筆者が音源を聞いて記譜した。カバー曲の調がオリジナル曲と異なる場合は、比較し易いように、オリジナル曲の方を移調し、カバー曲の方の調に揃えた。従って、本稿中で言及するオリジナル曲の楽音の高さは、カバー曲と同一の調に移調した後のものである。

「調形(平ら／昇り／降り)に関わらず、声調の始点ではなく、終点が関与している」(Chan1987)に基づき、楽譜中、調値イメージの下に、音節末の調値を数字で示す。また、「『陰平』の字が、下降する2楽音に対応する場合は、高降調□53の終点だけでなく始点も関与している」(樋口2010)に基づき、「陰平」の字が、下降する2楽音に対応する場合は、高降調□53の方を用い、音節初頭・末尾とも表示して下線を引く(53)。樋口2013bに基づき、「陰上」の字が、上昇する2楽音に対応する場合も、音節初頭・末尾とも表示して下線を引く(35)。

尚、以下の場合は、「楽音の高さを変えていない」と見なす。

1. オリジナル曲の楽音が、カバー曲ではリズムのみ異なる場合。
2. オリジナル曲の楽音が、カバー曲では、*mordent* / *pralltriller*のように、一旦2度下／上の楽音を経た直後に元の高さの楽音に戻る場合。
3. 2.とは逆に、カバー曲の楽音が、オリジナル曲では、*mordent* / *pralltriller*のように、一旦2度下／上の楽音を経た直後に元の高さの楽音に戻る場合。

1. 補遺と再整理

拙稿(2)(樋口2011)以降で立てた「2.1 上昇／下降する2(～3)楽音を1楽音に変える。」、および、同(3)(同2013a)以降で立てた「2.2 直後の、より高い／低い楽音に向かうため、オリジナルの1楽音または同一の高さの2楽音を、カバーでは上昇／下降する2(～3)楽音に、或いは、直前の楽音から直後の楽音への渡りとなる1楽音に、それぞれ変えてある、と考えられる。」を、同(1)(同2010)および同(2)(同2011)では明確に意識していなかったため、それらを中心に、まず、拾っていなかった例を追加し、また、必要がある例については、上述「0.2 拙稿(1)～(5)(樋口2010～2014)における調査結果」で示した最新のタイプ分類に従って、所属するタイプを変更する。

丸アルファベット大文字は今回の補遺、丸数字は以前の拙稿で既に言及済み、をそれぞれ表わす。

1.1 林憶蓮 1985 「搖擺口紅」(松田聖子 1984 「Rock'n Rouge」)

1.1.1

A(2~5 小節目)

ツとしづい spor ts ca r で ま た せた ね とカ ッコ つける か	
紅 艷陽 嘴 唇 搖 曳 著 流 香 盈 盈 萬 重 溫 一 柔 頰 倒 四 圍 男 士 成	
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
1 2 1 5 1 1	2 2 1 5 1

Aメロの①は、楽音の高さを変えてある。

①「溫 wan¹ □」(音節頭末調値53)の後半は、オリジナルの「fa」のまま変える必要がなかったが、直後の「si^b」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「fa」をカバーでは「si^b」に下げている、と考えられる。

1.1.2

A(6~9 小節目)

みにグリー スひ からせて き めてるけ どえ になら ない	
日 被 人 追 一 求 人 人 認 王 子 其 實 十 成 謊 一 言 心 中 有 嚟 情 義	
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 2 153 1 1	1 2 1 5 1

Aメロの②・③も、楽音の高さを変えてある。

②「追 zhōu¹ □」(音節頭末調値53)の後半は、オリジナルの「fa」のまま変える必要がなかったが、直後の「si^b」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「fa」をカバーでは「si^b」に下げている、と考えられる。

③「謊 fong¹ □」(音節頭末調値53)の後半は、オリジナルの「fa」のまま変える必要がなかったが、直後の「si^b」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「fa」をカバーでは「si^b」に下げている、と考えられる。

1.1.5

A'(6~9 小節目)

くまンドル か	けていい ア ドレスにはわ たしきりね
不出那詩一意沉	醉愛河中 説 不出那嚮往 將 初吻和 情義
□ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
5 5 3 5 3	3 1 3 3 1 5 3 5 5 3 5 3 5 5 3 1 1 2

A'メロのⒻも、楽音の高さを変えてある。

Ⓕ「詩 si¹ □」(音節頭末調値53)の後半は、オリジナルの「fa」のまま変える必要がなかったが、直後の「si^b」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「fa」をカバーでは「si^b」に下げている、と考えられる。

1.1.6

B'(5~8 小節目)

か る く つ	ね っ た ら ちよ っ と ブ
講 一 聲 講 聲 - I love you	管 他 一 天 一 地
□ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □
5 5 5 5 5	5 5 5 5 2

B'メロのⒼ・Ⓕ・Ⓖも、楽音の高さを変えてある。

Ⓖ「聲 seng¹ □」(音節頭末調値53)の後半は、オリジナルの「fa」のまま変える必要がなかったが、直後の「re^b」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「fa」をカバーでは「re^b」に下げている、と考えられる。

Ⓕ「他 ta¹ □」(音節頭末調値53)の後半は、オリジナルの「fa」のまま変える必要がなかったが、直後の「mi^b」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「fa」をカバーでは「mi^b」に下げている、と考えられる。

①「天 tin¹ □」(音節頭末調値53)の後半は、オリジナルの「mi^b」のまま変える必要がなかったが、直後の「do」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「mi^b」をカバーでは「do」に下げている、と考えられる。

1.1.7

B'(9~12小節目)

①																
	ルーにめをふせた Purepure															
①																
	倒一轉放 甜蜜吻最痴 Purepure															
	<table border="0"> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> </tr> <tr> <td>5</td><td>3</td><td>3</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>5</td> </tr> </table>	□	□	□	□	□	□	□	5	3	3	1	2	3	3	5
□	□	□	□	□	□	□										
5	3	3	1	2	3	3	5									

B'メロの①も、楽音の高さを変えてある。

①「倒 dou² □」(音節末調値5)の後半は、オリジナルの「mi^b」のまま変える必要がなかったが、直後の「re^b」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「mi^b」をカバーでは「re^b」に下げている、と考えられる。

1.2 張學友 1990「每天愛你多一些」(サザンオールスターズ 1990「真夏の果実」)

1.2.1

A																																	
	あふれる かなしい きせつは だれかに																																
A																																	
	無尋甚麼 突破天一地 但求夜深 奔波以後																																
	<table border="0"> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> </tr> <tr> <td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>5</td><td>2</td><td>3</td><td>5</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>3</td><td>2</td> </tr> </table>	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	1	1	2	5	2	3	5	2	2	1	2	5	5	5	3	2
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□																		
1	1	2	5	2	3	5	2	2	1	2	5	5	5	3	2																		

AメロのAは、楽音の高さを変えてある。

A「天 tin¹ □」(音節頭末調値53)の後半は、オリジナルの「la[#]」のまま変える必要がなかった

J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (1)~(5) まとめ (その1)

だが、直後の「mi[#]」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「la[#]」をカバーでは「mi[#]」に下げている、と考えられる。

1.2.2

A'

きもちは ことばに できない こんやも

平淡亦可 自有天一地 但求日出 清早到後

□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
1	2	2	5	2	53	2	2	1	2	5	5	5	3	2	

A'メロの⑤も、楽音の高さを変えている。

⑤「天 tin¹ □」(音節頭末調値53)の後半は、オリジナルの「la[#]」のまま変える必要がなかったが、直後の「mi[#]」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「la[#]」をカバーでは「mi[#]」に下げている、と考えられる。

1.2.3

B

いままこのむねになつはめーぐーるー

不願一離開 祈願一留低 情是永不枯萎

□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
5	2	1	5	5	2	1	5	1	2	3	5	53	5

Bメロの③・④も、楽音の高さを変えている。

③「不 bat¹ □」(音節末調値5)の後半は、オリジナルの「re[#]」のまま変える必要がなかったが、直後の「la[#]」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「re[#]」をカバーでは「la[#]」に下げている、と考えられる。

音「sol」に変えてある。

1.3.3

C(2~5小節目)

□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
5	5	5	5	5	5	5	5	5	53	3 3	3 5 5 3 1

Cメロの◎も、楽音の高さを変えてある。

◎「知 zhi¹ □」(音節頭末調値53)の後半は、オリジナルの「re」のまま変える必要がなかったが、直後の「do」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「re」をカバーでは「do」に下げている、と考えられる。

1.3.4

C(6~9小節目)

□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□						
1	2	3	5	2	3	53	5	3	3	2	2	3	5	3	1	2	3

Cメロの◎も、楽音の高さを変えてある。

◎「編 pin¹ □」(音節頭末調値53)の後半は、オリジナルの「mi」のまま変える必要がなかったが、直後の「re」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「mi」をカバーでは「re」に下げている、と考えられる。

1.4 鄭伊健 2000 「一生中一個你」(福山雅治 2000 「桜坂」)

1.4.1

B

かなしみ にー にた	うすべ に いる
一起等滿 天 細雪	仍是浪 漫 灼 熱
□ □ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □ □
5 5 5 3 5 3 3	1 2 2 2 3 2

Bメロの①は、楽音の高さを変えてある。

①「天 tin¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「la・sol」をカバーでは1楽音「la」に変えてある。

1.4.2

C(1~4小節目)

きみがいーた	こいをしーていた
肩膊上 宇 宙	你肆意探索及占有
□ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □ □
5 3 2 3 2	2 3 3 3 3 2 3 3

Cメロの②も、楽音の高さを変えてある。

②「宇 yū⁵ □」(音節末調値3)は、オリジナルの上昇する2楽音「la・do」をカバーでは1楽音「do」に変えてある。

1.4.3

C(5~8小節目)

C		D	①~④				
き み じ や な		一 き ゃ ー だ め な の	一	に			ひ と つ に
C		D	①	②	③	④	
不 理 會 以		後	亦	看	不	透	抱 著 你 睡
□ □ □ □		□	□	□	□	□	□ □ □ □
5 3 2 3		2	2	3	5	3	3 2 3 2

CメロのC・Dも、楽音の高さを変えてある。

◎「以 yi⁵ □」(音節末調値3)は、オリジナルの上昇する2楽音「la・do」をカバーでは1楽音「do」に変えてある。

◎「後 hau⁶ □」(音節末調値2)は、オリジナルの下降する3楽音「la・sol・fa」をカバーでは1楽音「la」に変えてある。

1.4.4

C'(1~4小節目)

E							
こ の ま ち		一	で		ず っ と ふ	一 た り で	
E							
擁 你 在 臂		内	有	勇	氣	戰	各 様 競 賽
□ □ □ □		□	□	□	□	□	□ □ □ □
5 3 2 3		2	3	3	3	3	3 2 2 3

C'メロのEも、楽音の高さを変えてある。

◎「臂 bei³ □」(音節末調値3)は、オリジナルの上昇する2楽音「la・do」をカバーでは1楽音「do」に変えてある。

1.5 陳慧琳 2000 「留座」(小柳ゆき 2000 「be alive」)

1.5.1

A

と ぶ ー た り ー で あ る き だ し ー た の ず っ

上 天 ー 己 不 錯 能 讓 你 間 中 ー 愛 我 完 全

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

3 53 3 5 3 1 2 3 3 53 3 3 1 1

Detailed description: This block contains two staves of music for the song '留座'. The top staff shows the original melody with a circled note 'A' at the end of the first phrase. The bottom staff shows the cover version with a circled note 'A' at the same position. Below the lyrics are two rows of square boxes representing note durations and a row of numbers representing the fingering for each note.

Aメロの①は、楽音の高さを変えてある。

①「不 bat¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「fa[#]・re」をカバーでは1楽音「fa[#]」に変えてある。

1.5.2

B

た ー が い の ゆ め かなう よう に ね が う け れ ー ど す

拯 ー 救 我 撕 毀 我 然 後 再 雙 手 ー 暖 我 使 我 沒 法 躲 你

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

5 3 3 5 5 3 1 2 3 5 5 3 3 5 3 2 3 5 3

Detailed description: This block contains two staves of music for the song '留座'. The top staff shows the original melody with a circled note 'B' at the end of the first phrase. The bottom staff shows the cover version with a circled note 'B' at the same position. Below the lyrics are two rows of square boxes representing note durations and a row of numbers representing the fingering for each note.

Bメロの②も、楽音の高さを変えてある。

②「手 sau² □」(音節末調値5)の後半は、オリジナルの「mi」のまま変える必要がなかったが、直後の「re」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「mi」をカバーでは「re」に下げている、と考えられる。

1.6 許志安 1993 「唯獨你是不可取替」(中山美穂 & WANDS 1992 「世界中の誰よりきっと」)

1.6.1

C'(1~4小節目)

□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
1	5	5	5	5	5	3	3	2	5	5	3	2	2	2	2	1	1	2	3	

C'メロの①・②は、楽音の高さを変えてある。

①「努 nou⁵ □」(音節末調値3)は、オリジナルの下降する2楽音「do[#]・si」をカバーでは1楽音「do[#]」に変えてある。

②「未 mei⁶ □」(音節末調値2)は、オリジナルの下降する2楽音「re[#]・do[#]」をカバーでは1楽音「re[#]」に変えてある。

1.6.2

C'(5~9小節目)

だきしめて いたい きせつ をこえて いっつで

もー

知 道 是 可 一 不 可 再 下 半 生 準 我 留 住 你 一 直 相

□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□					
5	3	2	5	5	5	5	3	2	3	5	5	3	1	2	3	5	2	5	3

愛

3

C'メロのC・D・Eも、楽音の高さを変えてある。

◎「一 yat¹ □」(音節末調値5)は、直後の「直 zhik⁶ □」(同2)の「la[#]」との音程が「短6度」³⁾では広すぎるので、少し狭めて「完全4度」⁴⁾になるように、オリジナルの「fa[#]」を「re[#]」に下げている、と考えられる。

また、◎「一 yat¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「fa[#]・la[#]」をカバーでは1楽音「re[#]」に変えている。

◎「相 söng¹ □」(音節頭末調値53)の後半は、オリジナルの「do[#]」のまま変える必要がなかったが、直後の「si」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「do[#]」をカバーでは「si」に下げている、と考えられる。

◎「愛 oi³ □」(音節末調値3)は、オリジナルの下降する2楽音「do[#]・si」をカバーでは1楽音「si」に変えている。

1.6.3

A'(1~4 小節目)

A'メロのⒻも、楽音の高さを変えてある。

Ⓕ「不 bat¹ □」（音節末調値5）は、オリジナルの下降する2楽音「do#・si」をカバーでは1楽音「do#」に変えてある。

1.6.4

A'(5~8 小節目)

A'メロのⒼ・Ⓕも、楽音の高さを変えてある。

Ⓖ「要 yiu³ ㊦」（音節末調値3）の後半は、オリジナルの「fa#」のまま変える必要がなかったが、直後の「re#」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「fa#」をカバーでは「re#」に下げている、と考えられる。

Ⓕ「交 gāu¹ □」（音節末調値5）は、オリジナルの下降する2楽音「do#・si」をカバーでは1楽音「do#」に変えてある。

1.7.2

A(13~16 小節目)

⑥	⑦	⑧~⑩	⑪
⑥	⑦	⑧ ⑨ ⑩	⑪
□ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □
2 3 2 2 1 2	2 3 2 2 1 2	5 5 5	5 5 5

Aメロの⑪も、楽音の高さを変えてある。

⑪「戀 lün² □」(音節末調値5)の後半は、オリジナルの「si」のまま変える必要がなかったが、直後の「la」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「si」をカバーでは「la」に下げている、と考えられる。

1.7.3

B

◎	⑫
◎	⑫
□ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □
2 1 5 3	2 2 2 1 3 2 1 2 3 3 2 3 3 5 5

Bメロの◎・⑫も、楽音の高さを変えてある。

◎「縱 zhung³ □」(音節末調値3)の後半は、オリジナルの「re」のまま変える必要がなかったが、直後の「si」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「re」をカバーでは「si」に下げている、と考えられる。

⑫「愛 oi³ □」(音節末調値3)の後半は、直後の「在 zhoi⁶ □」(同2)の「fa[#]」より低くならないように、オリジナルの「mi」をカバーでは「fa[#]」に上げてある。

1.7.4

A'

せつないけど そんなふうには ころはしばれない

反反覆覆的我 拉拉扯扯的爱 应不应该不太 想一再知

5 5 5 5 5 3 5 5 5 5 5 3 5 5 5 5 5 3 5 3 5

A'メロのⒺも、楽音の高さを変えてある。

Ⓔ「想 söng² □」(音節末調値5)の後半は、直前の「la」のまま変える必要がなかったが、直後の「sol」という、より低い楽音に向かうため、「sol」に下げている、と考えられる。

1.7.5

B'

で き みをつつむあのかぜになる

開 像 是離不開一戀愛有太多意外

5 2 2 1 5 5 3 3 3 5 3 2

B'メロのⒻも、楽音の高さを変えてある。

Ⓕ「開 hoi¹ □」(音節頭末調値53)の前半は、直前の「不 bat¹ □」(同5)の「re」と、また後半は、直後の「戀 lün² □」(同5)の「si」と、それぞれ同じ高さに揃えるように、オリジナルの2楽音「si・sol」をカバーでは「re・si」に上げてある。

J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (1)~(5) まとめ (その1)

1.8 張國榮&陳潔靈 1995「誰令你心痴」(小林明子 1985「恋におちて—Fall in love—」)

1.8.1

A

な た を お も い な が ら ー

喜 歡 她 何 不 想 想 法 子

5 5 5 1 5 5 5 3 5

Aメロの①は、楽音の高さを変えてある。

①「子 zhi² 子」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「re・mi」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

1.8.2

A'

Thin kin' bout you e very night and find out where I a --- m

I am not li vin' in your he a rt

無論何時遇見你 我會失理智 更不知一所以迷

1 2 1 1 2 3 3 3 3 5 3 3 3 5 53 5 3 1

失 的 心 全 都 困 一 你 起

5 5 5 1 5 53 3 5

A'メロの②・③は、オリジナルには無い楽音を加えてある。

②「迷 mai⁴ □」(音節末調値1)は、直後の「失 sat¹ □」(同5)の「fa[#]」より低くなるように、カバーでは「la」として加えてある。

③「全 chün⁴ □」(音節末調値1)は、直後の「都 dou¹ □」(同5)の「fa[#]」より低くなるように、カバーでは「la」として加えてある。

A'メロの④も、楽音の高さを変えてある。

④「起 hei² □」(音節末調値5)は、オリジナルの3楽音「fa[#]・re・mi」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

1.8.3

B'

あなたがいつもほしいーから

令我不能退愛火不可制止

2 3 5 1 3 3 5 5 5 3 5

B'メロのⒺも、オリジナルには無い楽音を加えてある。

Ⓔ「愛 oi³ 日」(音節末調値3)は、直前の「退 töü³ 日」(同3)の「re」と同じ高さに揃えるように、カバーでは「re」として加えてある。

B'メロのⒻも、楽音の高さを変えてある。

Ⓕ「可 ho² 日」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「mi・re」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

1.8.4

B'''

th ree lo ving hea rts are pull in'a part of one

但願你不嫌棄你身邊的漢子

2 2 3 5 1 3 3 5 5 5 3 5

B'''メロのⒼも、オリジナルには無い楽音を加えてある。

Ⓖ「你 nei⁵ 日」(音節末調値3)は、直前の「棄 hei³ 日」(同3)の「re」と同じ高さに揃えるように、カバーでは「re」として加えてある。

1.9 孫耀威 1995 「留住夏季的風」(酒井法子 1995 「碧いうさぎ」)

1.9.1

C

しすぎてしんで しまうわはやくあたためてほしー

い

夏季的風來做 歲月的觀眾 你會令寒冬驅走冰雪盡一

□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	
2	3	5	5	1	2	3	2	5	5	3	3	3	2	1	5	5	5	5	3	2

溶
□
1

Cメロの①は、楽音の高さを変えてある。

①「盡 zhōn⁶ □」(音節末調値2)の後半は、オリジナルの「la[#]」⁵⁾のまま変える必要がなかったが、直後の「sol[#]」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「la[#]」をカバーでは「sol[#]」に下げている、と考えられる。

1.10 譚耀文 1998 「悠长假期」(久保田利伸 with ナオミ キャンベル 1996 「LA・LA・LA・LOVE SONG」)

1.10.1

C(2~5 小節目)

あ え た			き せ き が ー				な み だ		
這 分 鐘			宣 ー 布 開 始 ー				若 己 開		
□	□	□	□	□	□	□	□	□	
3	5	5	53	3	5	5	2	3	5

Cメロの①は、楽音の高さを変えてある。

①「宣 sön¹ □」(音節頭末調値53)の後半は、オリジナルの「re^b」のまま変える必要がなかったが、直後の「do^b」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「re^b」をカバーでは「do^b」に下げている、と考えられる。

1.10.2

C(6~9 小節目)

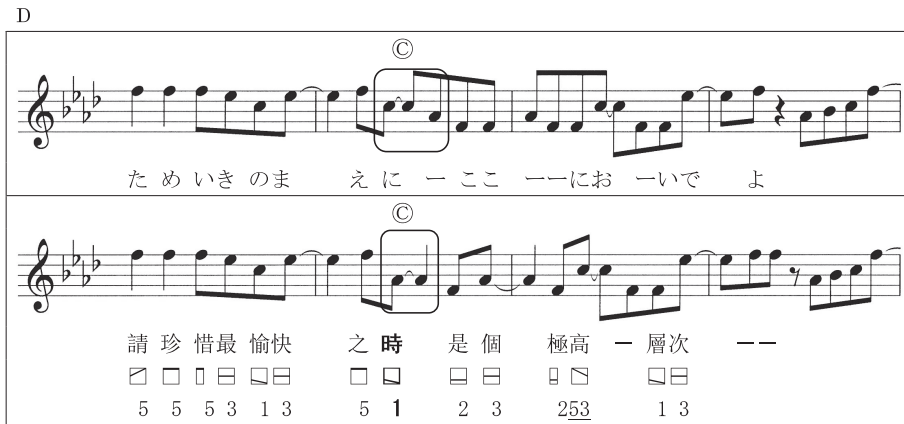
の			い ろ ー を か え た ー						
始		不 准		許 ー 它 終 止 ー					
□	□	□	□	□	□	□	□	□	
5	5	5	5	5	5	5			

Cメロの②も、楽音の高さを変えてある。

②「許 hōü² □」(音節末調値5)の後半は、オリジナルの「re^b」のまま変える必要がなかったが、直後の「do^b」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「re^b」をカバーでは「do^b」に下げている、と考えられる。

1.10.3

D



た め い き の ま え に こ こ お い で よ

請 珍 惜 最 愉 快 之 時 是 個 極 高 層 次

5 5 5 3 1 3 5 1 2 3 2 5 3 1 3

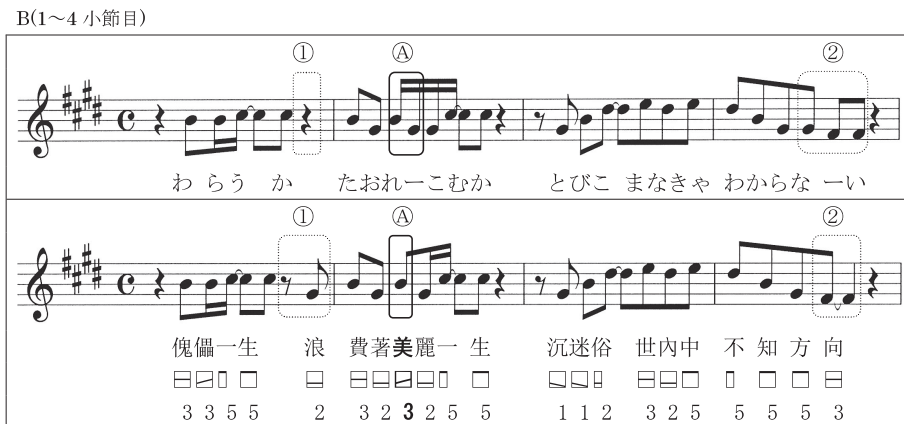
Dメロの◎も、楽音の高さを変えてある。

◎「時 si⁴ □」(音節末調値1)は、オリジナルの下降する2楽音「do・la^b」をカバーでは1楽音「la^b」に変えてある。

1.11 黎明1998「AHHHHH!」(久保田利伸1998「AHHHHH!」)

1.11.1

B(1~4小節目)



わ ら う か た お れ こ む か と び こ ま な き や わ か ら な い

傀儡一生 浪 費 著 美 麗 一 生 沉 迷 俗 世 內 中 不 知 方 向

3 3 5 5 2 3 2 3 2 5 5 1 1 2 3 2 5 5 5 5 5 3

Bメロの①は、楽音の高さを変えてある。

①「美 me⁵ □」(音節末調値3)は、オリジナルの下降する2楽音「si・sol[#]」をカバーでは1楽音「si」に変えてある。

1.11.2

B(5~8小節目)

えらそうに すかしーてたら あのこになぐらーれるさー																		
快快抓紧 年少時美麗光陰 誰亦料到青春不可倒退																		
<table border="0"> <tr> <td>□□□□</td> <td>□</td> <td>□□</td> <td>□□□□</td> <td>□□</td> <td>□□</td> <td>□□□□</td> <td>□</td> <td>□□□□</td> </tr> <tr> <td>3 3 5 5</td> <td>1</td> <td>3 1</td> <td>3 2 5 5</td> <td>1 2 2</td> <td>3 5 5</td> <td>5 5 3 3</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	□□□□	□	□□	□□□□	□□	□□	□□□□	□	□□□□	3 3 5 5	1	3 1	3 2 5 5	1 2 2	3 5 5	5 5 3 3		
□□□□	□	□□	□□□□	□□	□□	□□□□	□	□□□□										
3 3 5 5	1	3 1	3 2 5 5	1 2 2	3 5 5	5 5 3 3												

Bメロの⑤・⑥も、楽音の高さを変えてある。

⑤「美 mei⁵ □」(音節末調値3)は、オリジナルの下降する2楽音「si・sol[#]」をカバーでは1楽音「si」に変えてある。

⑥「不 bat¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「re[#]・si」をカバーでは1楽音「re[#]」に変えてある。

1.11.3

B'(1~4小節目)

このみも きずもーちがう デコボコなで あいーでもー																		
痛快的心又帶著半份傷感 沉默鬧市內中 孤單感覺一																		
<table border="0"> <tr> <td>□□□</td> <td>□</td> <td>□</td> <td>□□□</td> <td>□□□</td> <td>□□</td> <td>□□□</td> <td>□□□</td> <td>□□□□</td> </tr> <tr> <td>3 3 5</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>3 2 3</td> <td>2 5 5</td> <td>1 2 2</td> <td>3 2 5</td> <td>5 5 5 3</td> <td></td> </tr> </table>	□□□	□	□	□□□	□□□	□□	□□□	□□□	□□□□	3 3 5	5	2	3 2 3	2 5 5	1 2 2	3 2 5	5 5 5 3	
□□□	□	□	□□□	□□□	□□	□□□	□□□	□□□□										
3 3 5	5	2	3 2 3	2 5 5	1 2 2	3 2 5	5 5 5 3											

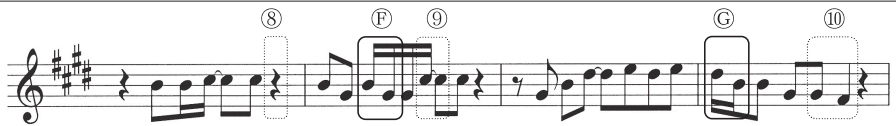
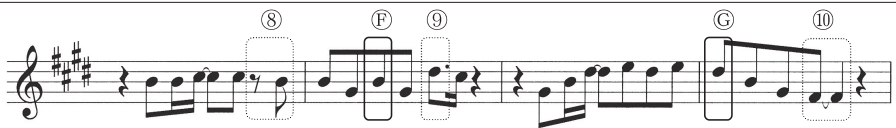
B'メロの⑥・⑦も、楽音の高さを変えてある。

⑥「半 bun³ □」(音節末調値3)は、オリジナルの下降する2楽音「si・sol[#]」をカバーでは1楽音「si」に変えてある。

⑦「單 dān¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「si・sol[#]」をカバーでは1楽音「si」に変えてある。

1.11.4

B'(5~8 小節目)

																																				
<p>た が い の から が わ れ て わ か り あ う こ え が で る</p>																																				
																																				
<p>放 棄 拘 緊 訴 説 著 各 地 聲 音 文 明 列 國 大 家 一 起 走 過</p>																																				
<table border="1"> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> </tr> <tr> <td>3</td><td>3</td><td>5</td><td>5</td><td>3</td><td>3</td><td>2</td><td>3</td><td>2</td><td>5</td><td>5</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>2</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>3</td> </tr> </table>		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	3	3	5	5	3	3	2	3	2	5	5	1	1	2	3	2	5	5	5	5	3
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□																							
3	3	5	5	3	3	2	3	2	5	5	1	1	2	3	2	5	5	5	5	3																

B'メロのⒻ・Ⓖも、楽音の高さを変えてある。

Ⓕ「各 gok^3 田」(音節末調値3)は、オリジナルの下降する2楽音「 $si \cdot sol^\sharp$ 」をカバーでは1楽音「 si 」に変えてある。

Ⓖ「一 yat^1 □」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「 $re^\sharp \cdot si$ 」をカバーでは1楽音「 re^\sharp 」に変えてある。

1.11.5

B'(9~12 小節目)

									
<p>せ ー の で Shout o ut Shout out</p>									
									
<p>今 天 ー 我 你 Shout o ut Shout o ut</p>									
<table border="1"> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>□</td><td>□</td> </tr> <tr> <td>5</td><td>5</td><td>3</td><td>3</td> </tr> </table>		□	□	□	□	5	5	3	3
□	□	□	□						
5	5	3	3						

B'メロのⒽも、楽音の高さを変えてある。

Ⓗ「天 tin^1 □」(音節頭末調値53)の後半は、オリジナルの「 do^\sharp 」のまま変える必要がなかったが、直後の「 si 」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「 do^\sharp 」をカバーでは「 si 」に下げている、と考えられる。

J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (1)～(5) まとめ (その1)

1.11.6

A(1～4小節目)

①

こんなよろこびは かかえきれないよ きみもおーいでよ

①

哪懼困難跳躍赤道 再踏腳步繼續上路 風沙冰雨一內探險

□□□□□□□ □ □□□□□□ □ □ □□ □ □ □□

3 2 3 1 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 5 5 5 3 2 3 5

Aメロの①も、楽音の高さを変えてある。

①「繼 gai³ 日」(音節末調値3)は、オリジナルの下降する2楽音「mi・do[#]」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

1.11.7

A(5～8小節目)

㊱ ㊲

そんなかなしみは せなかのたいようがさらって一ゆくさ

㊱ ㊲

世上満足快樂旅途 我願努力繼續上路 拋開一切一莫掛牽

□□□□□□□ □ □□□□□□ □ □ □ □ □ □ □ □

3 2 3 2 3 2 3 1 3 2 3 2 3 2 3 2 5 5 5 3 2 3 5

Aメロの㊱・㊲も、楽音の高さを変えてある。

㊱「努 nou⁵ □」(音節末調値3)は、オリジナルの下降する2楽音「mi・do[#]」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

㊲「繼 gai³ 日」(音節末調値3)は、オリジナルの下降する2楽音「mi・do[#]」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

1.12 葉佩雯 1999 「DEPARTURES」 (globe 1996 「DEPARTURES」)

1.12.1

A(2~5 小節目)

<p>も かぎりなく ふり一つ もる ゆきとーあなた へのおもいすこしで</p>	
<p>方風怎 一 麼去吹 也輕輕 去面對 最終 不一起 我也沒痛悲 無論在哪</p>	
<p>□□□ □□□ □□□ □□□ □□ □□ □□□□ □□□□</p>	
<p>5 5 5 5 3 5 3 5 5 3 2 3 3 5 5 5 5 3 3 2 3 5 1 2 2 3</p>	

Aメロの①・②は、楽音の高さを変えてある。

①「麼 mo¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「si^b・la^b」をカバーでは1楽音「si^b」に変えてある。

②「終 zhung¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「la^b・si^b」をカバーでは1楽音「si^b」に変えてある。

1.12.2

A(6~9 小節目)

<p>もつた えたくて とどーけたくて そばーにいて ほしくて</p>	
<p>方風一 始終會吹 會有天吹 向著你 替我講 句心底愛 沒有死</p>	
<p>□□ □□ □□□ □□□□ □□□ □□□ □□□ □□□ □□□</p>	
<p>5 5 5 5 3 5 3 3 5 5 3 2 3 3 3 5 3 5 5 3 2 3 5</p>	

Aメロの③も、楽音の高さを変えてある。

③「天 tin¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「si^b・do」をカバーでは1楽音「do」に変えてある。

J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (1)～(5) まとめ (その 1)

1.12.3

B'

だちのひ はなぜ か かげが つよくて やさし

路漸變修長還有天 — 地 迎向 風 並未逃 避 猛風

□□□□□□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

2 2 3 5 1 1 3 5 2 1 3 5 2 2 1 2 3 5

B'メロのDも、楽音の高さを変えてある。

D「天 tin¹ □」（音節頭末調値53）の後半は、オリジナルの「fa」のまま変える必要がなかったが、直後の「do」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「fa」をカバーでは「do」に下げている、と考えられる。

1.13 葉佩雯 1999 「Can you celebrate?」（安室奈美恵 1997 「CAN YOU CELEBRATE?」）

1.13.1

B'

ふたりきり—だね こんやはらは すこしでれる —よね

好 好珍惜 這份愛 你會共我愛戀 不可思議不 可—計算

□ □

5 5 5 5 3 2 3 3 3 2 3 3 5 5 5 3 5 5 3 3

B'メロのAは、楽音の高さを変えてある。

A「這 zhe³ □」（音節末調値3）は、オリジナルの下降する2楽音「mi・re[#]」をカバーでは1楽音「mi」に変えている。

1.14 梁漢文 2000 「我的命運」(福山雅治 1999 「Squall」)

1.14.1

A

つ の ま に か う れ し く な る よ ー

暗 中 去 等 心 中 的 理 想 對 象 吧

白 口 白 口 口 口 口 口 白 口 白

3 5 3 5 5 5 5 3 5 3 2 2

Aメロの①は、楽音の高さを変えてある。

①「吧 ba^6 白」(音節末調値2)は、オリジナルの下降する2楽音「 $sol^\# \cdot fa^\#$ 」をカバーでは1楽音「 $fa^\#$ 」に変えてある。

1.14.2

A'

え り み ち は さ み し く な る よ ー

會 比 我 好 不 甘 心 太 早 接 受 吧

白 白 白 白 口 口 口 口 白 口 白

3 5 3 5 5 5 5 3 5 3 2 2

A'メロの②も、楽音の高さを変えてある。

②「吧 ba^6 白」(音節末調値2)は、オリジナルの下降する2楽音「 $sol^\# \cdot fa^\#$ 」をカバーでは1楽音「 $fa^\#$ 」に変えてある。

1.15 陳慧珊 2001 「我還記得我是誰」(小柳ゆき 1999 「あなたのキスを数えましょう—You were mine—」)

1.15.1

A

まも れない やくそくが カレン ダー よ ごして

七 點 一未算早 留 下 一 滴 鬚 便 敏 捷 地 一 提 步 像 烈 士 上 路

□ □

5 5 2 3 5 2 1 5 2 5 2 3 2 2 1 2 2 2 2 3 2

Aメロの①・②は、楽音の高さを変えてある。

①「点 dim^2 □」(音節末調値5)の後半は、オリジナルの「mi」のまま変える必要がなかったが、直後の「do $^\sharp$ 」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「mi」をカバーでは「do $^\sharp$ 」に下げている、と考えられる。

②「地 dei^6 □」(音節末調値2)の後半は、オリジナルの「do $^\sharp$ 」のまま変える必要がなかったが、直後の「si」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「do $^\sharp$ 」をカバーでは「si」に下げている、と考えられる。

1.15.2

A

か み の け を た ば ね て も き の う と は ち が う か お で

西 裝 在 我 家 黑 房 裡 懸 掛 你 某 日 除 下 右 面 一 還 滴 了 一 茶

□ □

5 5 2 3 5 5 5 3 1 3 3 3 2 1 2 2 2 1 2 3 1

A'メロの③も、楽音の高さを変えてある。

③「面 min^6 □」(音節末調値2)の後半は、オリジナルの「do $^\sharp$ 」のまま変える必要がなかつ

たが、直後の「si」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「do[#]」をカバーでは「si」に下げている、と考えられる。

1.16 譚詠麟 1984 「捕風の漢子」 (ALFEE 1983 「メリーアン」)

1.16.1

A(1~4 小節目)

よつゆにぬれーる もりーをぬけてー

昨天有位仿似是關心—我的女子—

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

2 5 3 5 5 3 2 5 5̇ 3 5 3 5

Aメロの①・②は、楽音の高さを変えている。

①「仿 fong² □」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「do[#]・la」をカバーでは1楽音「do[#]」に変えている。

②「似 chi⁵ □」(音節末調値3)は、直後の「是 si⁶ □」(同2)の「fa[#]」より高くなるように、オリジナルの「fa[#]」をカバーでは「la」に上げている。

1.16.2

A(5~8 小節目)

しろいバルコーニーあなたをみた

昨天我於她一眼內找到千篇愛詩

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

2 5 3 5 5̇ 3 2 5 3 5 5 3 5

Aメロの③も、楽音の高さを変えている。

③「眼 ngān⁵ □」(音節末調値3)は、直後の「内 noi⁶ □」(同2)の「fa[#]」より高くなるよ

J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (1)~(5) まとめ (その1)

うに、オリジナルの「fa[#]」をカバーでは「la」に上げてある。

1.16.3

B

ときめくであいに むーねーは はりさけそう メリー

誰人長夜裡苦追一憶往事現她不想要知 Ma ri

1 1 1 2 3 5 5 3 5 3 2 2 5 5 5 3 5

Bメロの①・②・③も、楽音の高さを変えてある。

①「追 zhōu¹ □」(音節頭末調値53)の後半は、オリジナルの「re」のまま変える必要がなかったが、直後の「do[#]」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「re」をカバーでは「do[#]」に下げている、と考えられる。

②「憶 yik¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの下降する2楽音「do[#]・la」をカバーでは1楽音「do[#]」に変えている。

③「往 wong⁵ □」(音節末調値3)は、オリジナルの下降する2楽音「la・fa[#]」をカバーでは1楽音「la」に変えている。

1.16.4

A(1~4小節目)

とおくき こえーる チャペールのかねー

路中有位 不説一話 心傷透的漢子一

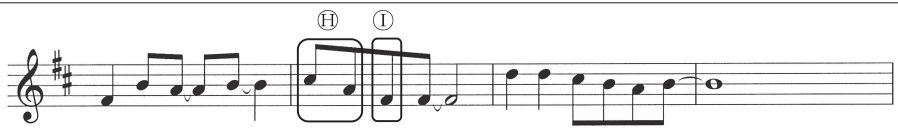

2 5 3 5 5 3 2 5 5 3 5 3 5

A'メロの④も、楽音の高さを変えている。

㊥「傷 sǒng¹ □」（音節末調値5）は、オリジナルの下降する2楽音「si・re」をカバーでは1楽音「si」に変えてある。

1.16.5

A'(5～8小節目)

															
<p>あなたを うばう ゆめを みた</p>															
															
<p>目光 帶 點 哀 興 倦 天天 穿 黑 布 衣</p>															
<p>□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □</p>															
<p>2 5 3 5 5 3 2 5 5 5 5 3 5</p>															


A'メロの㊥・㊦も、楽音の高さを変えてある。

㊥「哀 oi¹ □」（音節末調値5）は、オリジナルの下降する2楽音「do[#]・la」をカバーでは1楽音「do[#]」に変えてある。

㊦「興 yü⁵ □」（音節末調値3）は、直後の「倦 gūn⁶ □」（同2）の「fa[#]」より高くなるように、オリジナルの「fa[#]」をカバーでは「la」に上げてある。

1.16.6

B'(1～4小節目)

															
<p>かがやく はぐねん の ひーび こいのなぞもとけ めーまーま</p>															
															
<p>像是立了 心一生 追 一 掉 某個已於風中逝去 的 夢 一 兒</p>															
<p>□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □</p>															
<p>2 2 2 3 5 5 5 53 2 3 3 3 5 5 5 2 3 5 2 1</p>															

B'メロの㊩・㊫も、楽音の高さを変えてある。




㊩「追 zhōu¹ □」（音節頭末調値53）の前半は、オリジナルの下降する2楽音「do[#]・la」をカバーでは1楽音「do[#]」に変えてある。

J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (1)~(5) まとめ (その1)

㊸ 「的 dik¹ □」(音節末調値5) は、オリジナルの下降する2楽音「do[#]・la[#]」をカバーでは1楽音「do[#]」に変えてある。

1.16.7

B'(5~8 小節目)


											
											
											

B'メロの㊸も、楽音の高さを変えてある。

㊸ 「此 chi² □」(音節末調値5) は、オリジナルの下降する2楽音「do[#]・la」をカバーでは1楽音「do[#]」に変えてある。

1.17 譚詠麟 1984 「酒紅色的心」(安全地帯 1983 「ワインレッドの心」)

1.17.1

Bメロの㊸は、楽音の高さを変えてある。

㊸ 「息 sik¹ □」(音節末調値5) は、オリジナルの上昇する2楽音「re・mi」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

1.17.2

B'

かなしそうなことばに — よってないの — より

重現愛火實在 愛惜 怎形容你那嬌弱 像無力

□□□ □□□ □□ □□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□

1 2 3 5 2 2 3 5 5 1 1 3 3 5 2 2 2 2

B'メロのⒷも、楽音の高さを変えてある。

Ⓑ「惜 sik^l □」（音節末調値5）は、オリジナルの上昇する2楽音「re・mi」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

1.17.3

C'

こころをまだ もてあまして いる のさ このよるも

紅酒 紅酒 紅酒 幹一杯—加深 — 記憶 真愛為—誰滴

□□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□

1 5 1 5 1 5 5 5 5 3 5 5 3 3 5 5 3 2 1 5

C'メロの©も、楽音の高さを変えてある。

©「記 gei³ □」（音節末調値3）は、オリジナルの「sol」のまま変える必要がなかったが、直後の「si」という、より高い楽音に向かうため、オリジナルの「sol」をカバーでは「la」に上げである、と考えられる。

（その2に続く）

注

- 1) 北京大学中文系2003, 千島1991参照。調値は五度法(最高を5, 最低を1とする5段階)で示す。□の中は調値のイメージを表わす。尚, 本文中で発音を示すローマ字は千島式を用いる。
- 2) 「陰平」は高平でも高降でも可。
- 3) 「短6度」とは, 起点から終点まで, 起点と終点を含めて数えて, 半音9個分の音程を指す。例えば, 「do」を起点として上に向かうと, 「la^b」を終点とする音程。ここでは, 「fa[#]」を起点として, 下に向かって「la[#]」を終点とする音程。
- 4) 「完全4度」とは, 起点から終点まで, 起点と終点を含めて数えて, 半音6個分の音程を指す。例えば, 「do」を起点として上に向かうと, 「fa」を終点とする音程。ここでは, 「re[#]」を起点として, 下に向かって「la[#]」を終点とする音程。
- 5) 実際には「la[#]・si・la[#]」だが, 0.3でも述べた通り, pralltrillerのように, 一旦2度上の楽音を経た直後に元の高さの楽音に戻っているため, 1楽音「la[#]」と解釈する。

参考文献 (参考文献は発行年順に並べた。)

- 石桁真礼生・丸田昭三・金光威和雄・末吉保雄・飯田隆・飯沼信義1965『楽典 理論と実習』, 音楽之友社。
- 下中邦彦 編集発行1983『音楽大事典』第5巻, 「平均律」の項, 平凡社。
- 張丹 主編1984《中文多用字典》, 天宇圖書公司出版。
- Marjorie K. M. Chan 1987“Tone and Melody in Cantonese”, Berkeley Linguistic Society, Proceeding of the 13th Annual Meeting, 1987, pp. 26-37, U.S.A.。
- 千島英一1991『標準広東語同音字表』, 東方書店。
- 香港・萬里機構出版有限公司+東方書店1996『広東語辞典 ポケット版』, 東方書店。
- 白宛如1998《廣州方言詞典》, 江蘇教育出版社。
- 張双庆, 林建平1999《香港話音檔》, 上海教育出版社。
- スティープン・マシューズ&ヴァージニア・イップ2000『広東語文法』, 千島英一&片岡新訳, 東方書店。
- (Stephen Matthews and Virginia Yip 1994“Cantonese: A Comprehensive Grammar”の日本語訳。)
- 北京大学中文系2003《汉语方音字汇》(第二版重排本), 语文出版社。
- 千島英一2005『東方広東語辞典』, 東方書店。
- Ho, Wing See Vincie 2006“The tone-melody interface of popular songs written in tone languages”, 9th International Conference on Music Perception and Cognition, 2006, pp. 1414-1422, Italy。
- 矢部公啓2008『カラオケ・ファンに贈る 音楽用語解説』, ドレミ楽譜出版社。
- 飯田真紀2009「広東語の歌の話」, 『TONGXUE』第38号, pp. 16-19。
- 劉振盛2010《廣州話普通話詞典》, 商務印書館。
- 樋口勇夫2010「J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』22-1, pp. 17-40。
- 樋口勇夫2011「J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (2)」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』23-1, pp. 33-62。
- 麥耘, 譚步雲2011《實用廣州話分類詞典》, 商務印書館。
- 樋口勇夫2013a「J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (3)」, 『名古屋学院大学論集一言語・文

化篇一』24-2, pp. 83-125。

樋口勇夫2013b 「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (4)」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』25-1, pp. 13-58。

樋口勇夫2014 「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (5)」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』26-1, pp. 21-57。

付記

本稿執筆にあたり、今回も楽譜についてご助言を賜った、もと本学職員でオルガニストの有田知子氏に、感謝申し上げたい。(但し、楽譜に間違いがある場合は、全て筆者の責任に帰する。)